

リンゴ中生種 ‘あおり13’

研究のねらい

‘祝’、‘旭’に替わる早生種を育成する。

研究の成果

選 抜 理 由：食味が良好で、着色管理が容易な中生種として選抜された。

組み合わせ：‘世界一’×‘あかね’

交 配 年 次：1978年（昭和53年）

出 願 登 録：2000年（平成12年）3月

樹 の 性 質：樹勢は中位で、短果枝が多い。花芽分化率が高く、弱小芽でも花芽であることが多い。斑点落葉病には‘ふじ’より強い。

収 穫 時 期：10月上旬であるが、熟期がやや不揃いで、収穫前落果もいくらかあるので、すぐりもぎをする必要がある。

果 実 特 性：1果重は350g前後で大きく、果形は扁円形で、果色は暗紅色で、光沢がある。着色が容易なため、葉摘みが楽である。果肉は黄白色で硬く、ち密で果汁が多く、蜜が入る。肉梗（果柄基部が肥大）の発生が多い。食味は甘味で良好である。貯蔵性は常温で3週間、冷蔵で12月末までである。



発表資料

1. 育種部（1999）. りんご育成系統「青り13号」の特性. 平成11年度指導奨励事項・指導参考資料等：118-119.
2. 今 智之（1999）. りんご試育成系統「青り13号」の特性. りんご試験場第19回成果・情報発表会要旨：13-16.